解体工事専用
仮設
カタログ

日本セイフティー株式会社
NIHON SAFETY CO.,LTD.

http://www.nihonsafety.com

本　　社	〒102-0082	東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F
	東日本第1営業部	TEL.03-6369-2221 FAX.03-6369-2220
	東日本第2営業部	TEL.03-6369-2222 FAX.03-6369-2230
	ＡＳ事業部	TEL.03-6369-2225 FAX.03-6369-2220
	環境土木事業部	TEL.03-6369-2224 FAX.03-6369-2220
	ラップポン事業部	TEL.03-6369-2223 FAX.03-6369-2228
大阪支店	〒541-0053	大阪市中央区本町4丁目5-16 本町スクウェアビルⅡ
	営業部	TEL.06-6260-1122 FAX.06-6260-1123
東北支店	〒989-1503	宮城県柴田郡川崎町大字川内字七曲山63番地
		TEL.0224-85-2331 FAX.0224-84-2333
名古屋支店	〒496-0026	愛知県津島市唐臼町二ツ池６０番地
		TEL.0567-33-0077 FAX.0567-33-0078
広島支店	〒731-0223	広島県広島市安佐北区可部南5丁目6番1号
		TEL.082-819-1877 FAX.082-819-1878
四国支店	〒761-8031	香川県高松市郷東町５７７番地５
		TEL.087-832-8181 FAX.087-832-8180
九州支店	〒811-2104	福岡県糟屋郡宇美町井野316番地585
		TEL.092-957-6812 FAX.092-957-6813
札幌営業所	〒001-0915	札幌市北区新琴似町５７４－２
		TEL.011-769-7631 FAX.011-769-7630
静岡営業所	〒421-0303	静岡県榛原郡吉田町片岡８番２
		TEL.0548-32-6661 FAX.0548-32-3456

◆カタログ掲載商品について
このカタログの掲載内容は、2019年4月1日現在のものです。製品改良のため、仕様及び外観の一部を予告なく変更する場合があります。

周辺環境の安心・安全を確保！

解体工事専用 仮設カタログ

日本セイフティー株式会社
NIHON SAFETY CO.,LTD.

KAI−1904−06

CONTENTS

防音パネル・BG
01 P2～5

スーパー・アルミサポート
02 P6

NSタワー
03 P7～10

アドフラット
04 P11～14

サイクルゲート
05 P15～20

養生関連
06 P21

お取り扱いセンター
07 P22

SOUNDPROOF PANEL

防音パネル・BG

01

足場にも単管にも専用クランプによりワンタッチで取付けられ、現場作業をスピーディーかつ安全に行うことができます。1枚の重量は約10kgと画期的な軽量化を実現。搬入・搬出・取付けがとても簡単で、しかも密閉性に優れている為、保温、防音、防塵に効果を発揮します。

特長

凹凸のないフラットパネル

フラット性に優れたアルミ積層複合材をパネル面材として使用していますので凹凸が無く都市のビル外装材と同等の高級感を表現します。又、独自の表面意匠によりフレーム表面には接合部材が無く、より高級感を演出します。

軽量化パネルの実現

防音性能とパネル強度を従来品より高め、さらに構成素材の軽量化を図り軽量パネルを実現しました。メーターサイズ9.7kg、インチサイズ10.0kg。

防錆・防水・耐水性に優れています

使用金属類はアルミニウム製もしくはステンレス製ですのでサビの心配が無く又、吸水しない材料で構成されていますので水洗いも手軽に出来ます。雨水による重量アップも無く常に軽量パネルとしての特性を活かせます。

社団法人仮設工業会
防音パネルの認定合格証

仮設工業会防災基準合格品

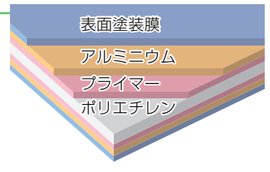
燃えにくい金属系部材で構成されていますので火災の拡大を阻止します。

防音パネル・BG

■ 表面

■ アルミ樹脂積層複合板の構成図

表面材には軽量、フラットネス、剛性、遮音性という優れた特長を持った、アルミ樹脂積層複合板「プラメタル」を使用しています。

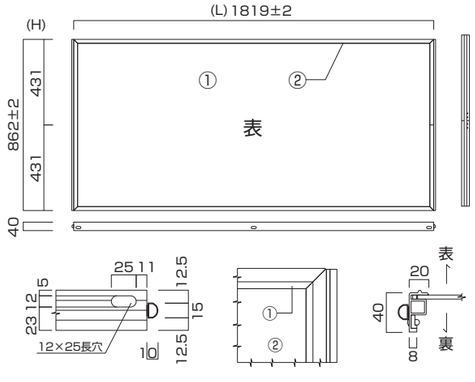


■ 防音パネル裏面

■ 防音パネル断面

概略図

①アルミ樹脂積層複合材　②アルミフレーム



サイズ表

インチ

	T(mm)	L(mm)	H(mm)	重量(kg)
18	40	1819	862	10.0
15	40	1514	862	8.5
12	40	1209	862	7.0
09	40	904	862	5.5
06	40	600	862	4.1
コーナー	40	–	862	1.5

メーター

	T(mm)	L(mm)	H(mm)	重量(kg)
18	40	1790	850	9.7
15	40	1490	850	8.3
12	40	1190	850	6.8
09	40	890	850	5.4
06	40	590	850	4.0
コーナー	40	–	850	1.5

防音パネル・BG

採光パネル

採光パネルは、“ポリカーボネート”を使用した採光性を求める現場に最適な光線透過パネルです。保温性を高め、風、雨、雪を防ぐので気象条件の厳しい現場環境に最も役立ちます。

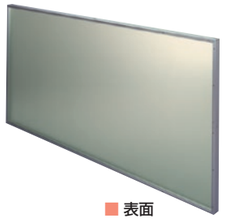
優れた遮音能力を発揮

明り採りの役目を充分にはたすので、現場内を明るくし、作業員の安全対策に貢献します。
また、建設現場の近隣住民の日照権を保護し、防音効果と共に近隣対策をも実現します。

高強度・軽量化パネルの実現

暖かさを現場内に提供します。風、雨、雪の侵入を防ぐと共に太陽熱を採り込むので、冬期並びに寒冷地での現場の保温性の確保に最適です。

インチ				
	T(mm)	L(mm)	H(mm)	重量(kg)
18	50	1819	857	11.5

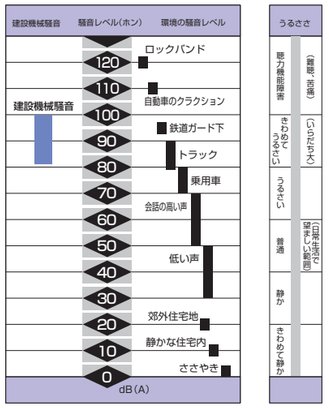


■ 表面

社団法人仮設工業会
採光パネルの認定合格証

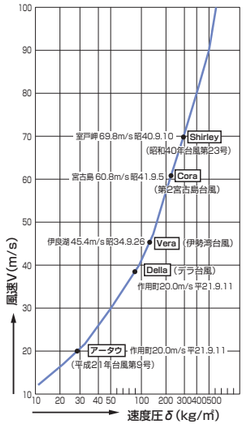
建設機械騒音と環境騒音の比較

■ 建設機械騒音と環境騒音の比較



※●建築機械の作業性は音源より30m離れた地点で測定されることが多く、一般には100(A)以下です。
●dB(A)とは世界共通の騒音レベルを表す計量単位で、我国ではホンと呼ぶこともあります。

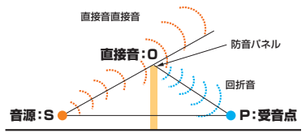
■ 風速(m/s)速度圧(kg/㎡)の関係



日本上陸の過去の大きな台風の最大速度(m/S)がどの位の荷重になるのかが読み取れます。ビルガードは、350kg/㎡(風速75m/S相当)の荷重にも耐えうる強度試験結果が出ています。

■ 防音パネル設置による減音のしくみ

音は光と同じように波(波動)です。音源で発生した音が、防音パネルにより受音点に回り込むことを回折と言います。音源から受音点に達する間に防音パネルを設けることによって、音が受音点に至るまでの伝搬経路が長くなります。



SO+OP 防音パネルを設けたことによる伝搬経路
SP 音源ー受音点伝搬経路
δ=(SO+OP)ーSP

一般的にδの値が大きいほど減音効果は高まります。
通常行う騒音予測計算は、この原理に基づいています。

■ 仮設用防音パネルに要求される音響性能

社団法人 仮設工業会 認定基準より抜粋

(1) 透過損失

試験方法はJIS A1416「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」とする。

500Hzに対して・18d以上　1000Hzに対して・23d以上

遮音壁は直接音を遮るとともに、回折効果により減音させるものであるから遮音壁を直接透過してくる音が、遮音壁の上を越えてくる回折音に比べて十分小さくなくはその効果を発揮できない。透過音が回折音に対して無視しうるレベルとなるためには回折音よりも10d回以上小さな音となる必要がある。また、機械騒音の主な周波数成分は、250〜2000Hzの範囲にあると考えられている。以上を考慮して遮音板の持つべき透過損失の基準値として上記を定めた。

㈳仮設工業会　認定基準と試験結果

■ 防音パネル仮設工業会認定試験基準

1-❶ 曲げ強度試験

荷重の最小値	平均値
2.85kN以上	3.14kN以上

1-❷ 落下試験

落下体である鋼管が供試防音パネルを貫通しないこと。

2 防炎性能

1 防音パネルは、消防法(昭和23年7月24日法律第186号)第8条の3に定める次表の防炎性能を有するものでなければならない。

パネル材重さ	450g/㎡を越えるもの※
残炎時間	5秒以下
残じん時間	20秒以下
炭化面積	40㎠以下

注)※45°メッケルバーナー法による。
2 上記の防炎性能の試験は、公共の期間その他当会が定めた機関で行うものとする。

3 防音性能

1 防音パネルは、次の表の音響性能を有するものでなければならない。

周波数(Hz)	音響透過損失(dB)
500	18以上
1000	23以上

2 上記の音響性能の試験は、日本工業規格A1416(実験室における建築部材の空気音遮断の性能測定方法)に定める方法により公共の機関その他当会が定めた機関で行うものとする。

■ ビルガード(防音パネル)試験結果

1-❶ 曲げ強度試験

供試体NO.	1	2	3	平均値
強度kN	5以上	5以上	5以上	ー
認定基準による値		2.85kN以上		3.14kN以上

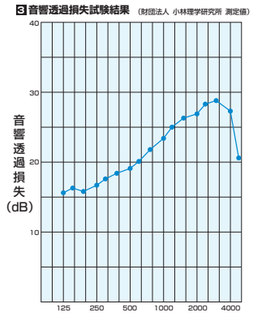
1-❷ 落下試験

供試体NO.	1	2	3
貫通に有無	無	無	無

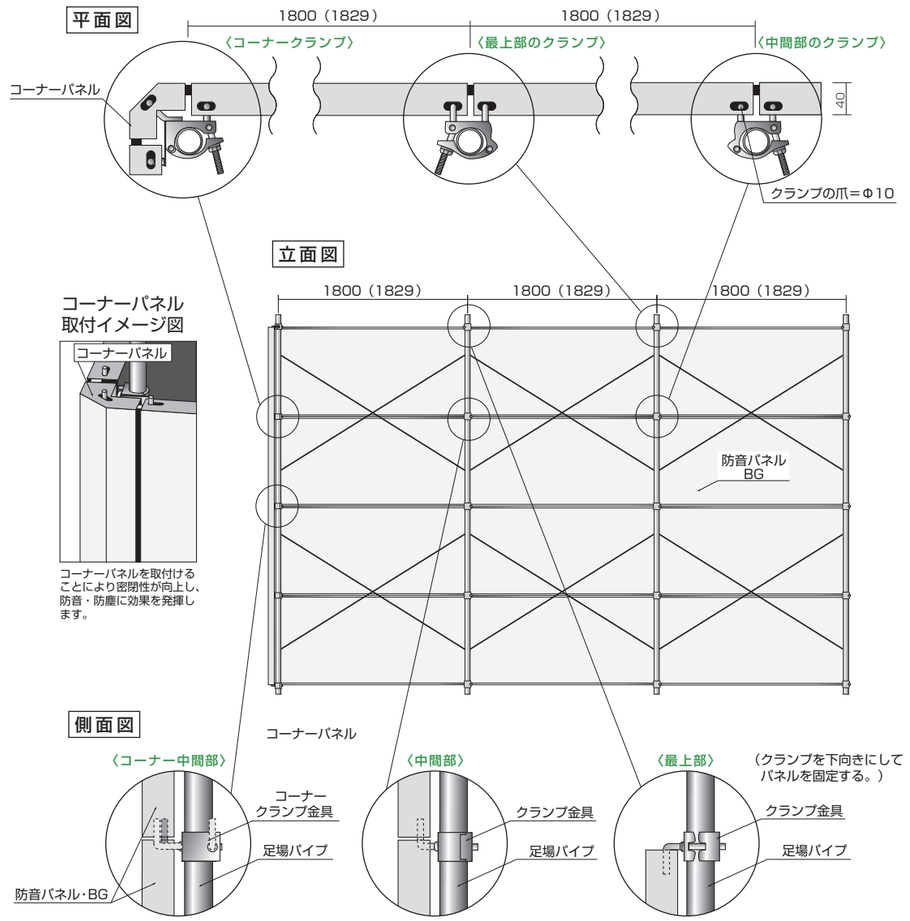
2 防炎性能試験 (財団法人 日本防炎協会)
消防法施行規則第8条の3の合格基準

加熱時間	試験項目 / 試験NO.	残炎時間(秒)	残じん時間(秒)	炭化面積(㎠)
2分加熱	NO.1	0	0	0
	NO.2	0	0	0
	NO.3	0	0	0
着炎後6秒加熱	NO.1	ー	ー	ー
	NO.2	ー	ー	ー

3 音響透過損失試験結果 (財団法人 小林理学研究所 測定値)



パネル取扱い説明



※サイズ表示は、メーターサイズです。(　)内はインチサイズです。単位はmm。(本図は、足場材による参考図です。専用クランプの使用で、単管にも取付けられます。)

付属部材

養生クランプ

パネルのストレートジョイント部に使用し、爪を差し込むことでしっかり連結します。

養生コーナークランプ

コーナーパネルを使用しない場合、パネルを90度に方向転換できます。

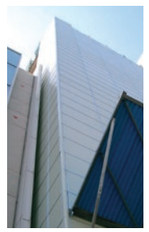
三ツ爪コーナークランプ

パネルとコーナーパネルを90度に連結し、コーナー部を密閉する場合に使用します。

軽量アルミ製コーナーパネル

現場の死角をカバーします。

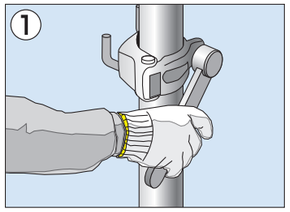
〈コーナーパネル使用例〉



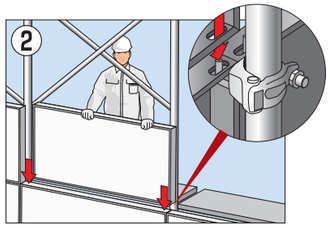
01 SOUNDPROOF PANEL 防音パネル・BG

防音パネル施工順序

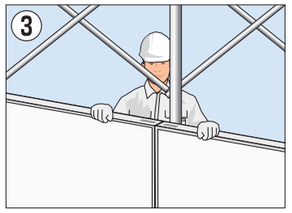
設置



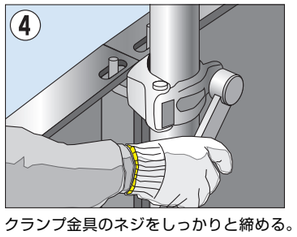
足場パイプにクランプ金具を取付ける。
※クランプのフックは上向き



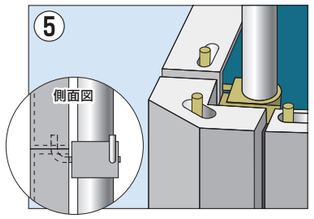
防音パネルを下から出ているクランプフックにクランプ孔を通す。



上のクランプ孔をピタッと合わせる。



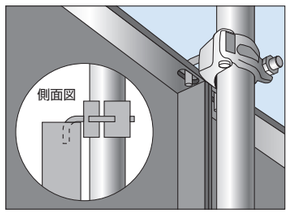
クランプ金具のネジをしっかりと締める。



コーナーパネルを使用する時は、
コーナー専用クランプを使用する。

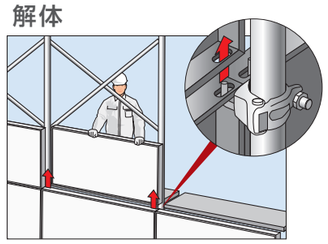
※コーナーパネル、コーナー専用クランプは認定基準が定められておりません。

最上段取付け



最上段はクランプのフックを下向きに取付ける。

解体



パネルをクランプから外す。

※メバリにテープ等を使用した場合は、テープ等を取り除いてからパネルを外す。

※隣接するパネルが、競り合いで浮いたり外れたりしない様、より安全の為にコーナーパネルの先行バラシや垂直ネットのご使用をお勧めします。

施工実績

仮設工業会・防音パネルの使用基準

【取付方法】

1）防音パネル用のクランプの取付けは、3.4kN･cm以上4.4kN･cm以下の締付けトルクで行うものとする。

2）防音パネルの防音パネル用のクランプへの取付けは、取付部のかかりしろを大きくとるものとする。

3）最上段の防音パネルの上部は、防音パネル用のクランプのフックが下向きとなるように取付けのものとする。

4）防音パネルは隣接するパネル間に隙間のないように取り付けるものとする。

5）防音パネルを取付けた枠組足場のつなぎの取付け感覚は、垂直方向3.6m以下、水平方向3.7m以下とする。

6）風速が14mを越える強風時においては、倒壊防止対策を施すものとする。

02 SUPER SUPPORT スーパー・アルミサポート

強度を保ちながら、軽量化を実現し作業効率が大幅アップ。建築工事では、解体工事・地下工事・PC梁下補強・各支保工にて活用でき、土木工事では、地下鉄・高架橋工事支保工・重量仮設道路の補強等を強力にサポートします。

特長

軽量化の実現

必要な強度を確保しながら、アルミ合金製とする事で大幅に軽量化を実現。（40型スチール　58kg／本と比較し、約2/3の軽さ）軽量化により物量コストの削減も実現。

作業効率アップ

軽量化とキャリングハンドルの採用により、大幅に作業効率アップ。上柱と下柱を分割することなく、一人でも小運搬が可能。

部品交換で修理可能

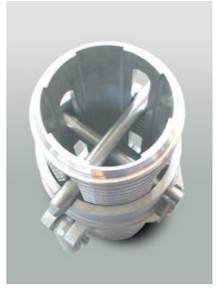
溶接による組み立てをなくし、破損も部品交換で簡単に修理可能。

高い許容耐力

2本の特殊鋼支持ピンの採用により、アルミ製でありながら鉄製強力サポートと同等の許容耐力を確保。

ベースプレート（キャリングハンドル）

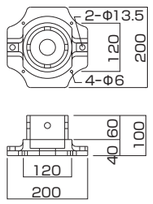
ジャッキユニット



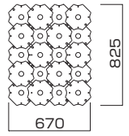
スーパー・アルミサポート

製品図

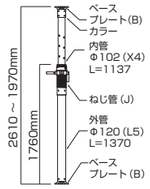
ベースプレート



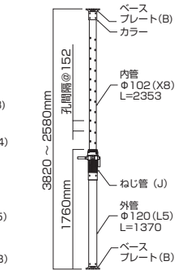
梱包形状　20本



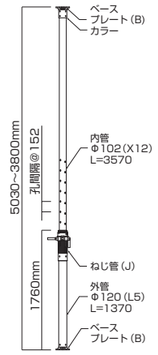
26型
・BX4−J−L5B



38型
・BX8−J−L5B



50型
・BX12−J−L5B



オプション

専用クランプ（直交・自在）

規格

呼称	セット記号	調節長さ(mm)	重量(kg/本)	許容体力（t/本） 中間・水平つなぎ あり(注)	許容体力（t/本） 中間・水平つなぎ なし	内管 記号	内管 長さ(mm)	外管 記号	外管 長さ(mm)
26型	BX4−J−L5B	2610～1970	29	15.0	15.0	X4	1137	L5	1370
38型	BX8−J−L5B	3820～2580	36	15.0	15.0	X8	2353	L5	1370
50型	BX12−J−L5B	5030～3800	43	15.0	10.0	X12	3570	L5	1370

（注）表中、「中間部・水平つなぎ　あり」とは、本製品の高さ2m以内ごとに水平2方向に水平つなぎ専用クランプで取付けること。

材料仕様

名称	寸法	材質
外管	φ120×8^{t}	アルミ　A6061TE−T6
内管	φ102×5^{t}（8^{t}）	アルミ　A6061TE−T6
ねじ管	φ132×14^{t}	アルミ　A6061TE−T6
ピン	φ20×190	クロムモリブデン鋼　SCM

NSタワー

建築・土木工事において重加重に対応でき、高さのある躯体工事（PC・在来工法）に使用可能な支保工材です。作業効率が大幅にアップ。組立て簡単、転用時、組立てたまま揚重機で吊って移動が出来ます。1基あたり、許容耐力が最大20tなので、スパンがとばせ作業スペースが取れます。

特長

簡単組立て、吊り移動可能

45cmのメインフレームを積み上げるだけで簡単に組み立てることができ、転用時、解体せずに揚重機で組立てたまま吊って移動ができます。

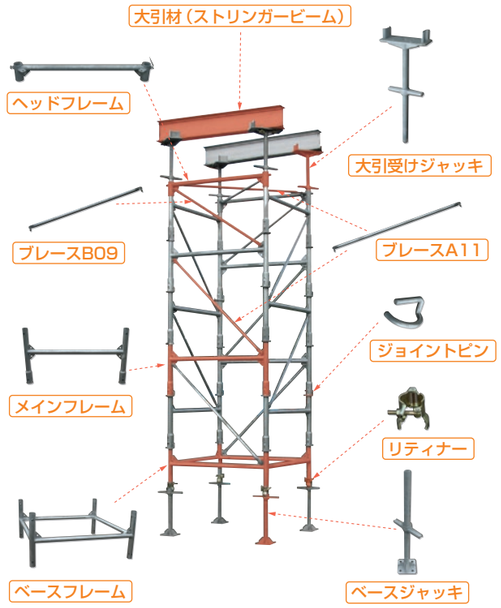
優れた耐久性を実現

1基あたり、許容耐力最大20tなのでスパンがとばせ作業スペースがとれ、簡単組立・簡単移動により、作業性が良く工期を短縮できます。

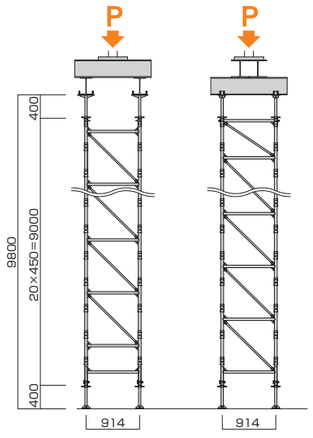
管理効率アップ

構成部材は8点と少なく、部材管理が簡単です。

組立構成



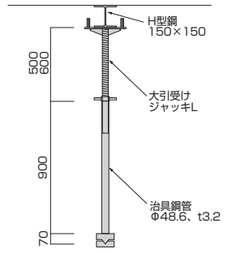
強度



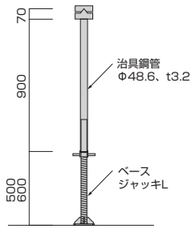
試験体NO.	最大荷重（ton）	許容荷重（ton）
①	49.6	20.0
②	45.2	

試験結果（於：仮設工業会）による

大引受けジャッキL



ベースジャッキL

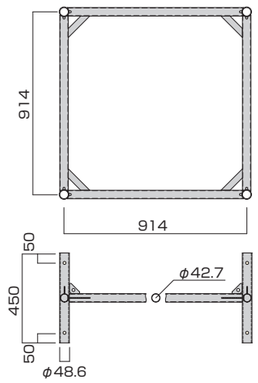


大引受けジャッキL				
試験体NO.	ジャッキ長500mm		ジャッキ長600mm	
	最大荷重（ton）	最大荷重（ton）	最大荷重（ton）	最大荷重（ton）
①	12.04	5.0	9.13	4.5
②	12.55		9.98	
③	11.43		11.33	

ベースジャッキL				
試験体NO.	ジャッキ長500mm		ジャッキ長600mm	
	最大荷重（ton）	最大荷重（ton）	最大荷重（ton）	最大荷重（ton）
①	12.85	5.0	9.95	4.5
②	10.83		11.33	
③	11.36		10.09	

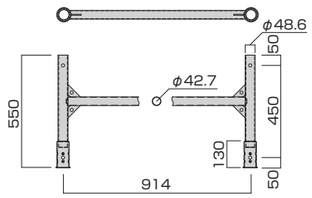
部品の仕様と組合せ（1）

① ベースフレーム



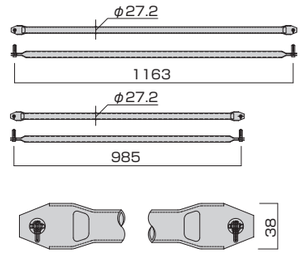
品番	品名	重量(kg)
NS−BF	NSタワー　ベースフレーム	15.5

② メインフレーム



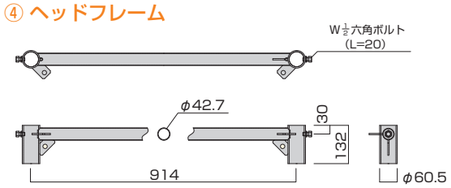
品番	品名	重量(kg)
NS−MF	NSタワー　メインフレーム	6.3

③ ブレース



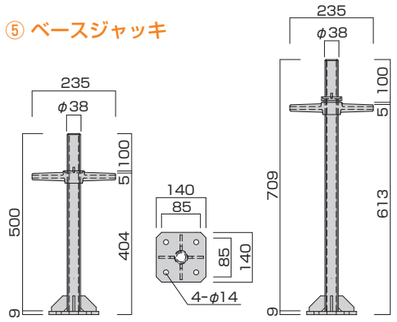
品番	品名	重量(kg)
NS−B−A11	NSタワー　ブレースA11	1.4
NS−B−B09	NSタワー　ブレースB09	1.2

④ ヘッドフレーム



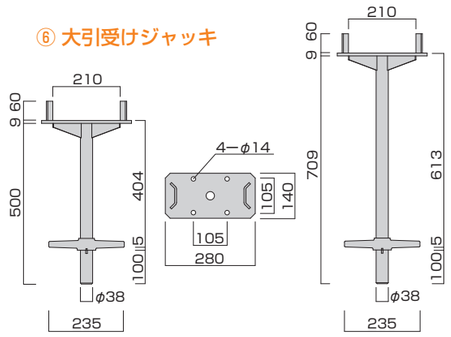
品番	品名	重量(kg)
NS−HF	NSタワー　ヘッドフレーム	3.5

⑤ ベースジャッキ



品番	品名	重量(kg)
NS−BJ	ベースジャッキ	4.2
NS−BJL	ベースジャッキL	5.2

⑥ 大引受けジャッキ

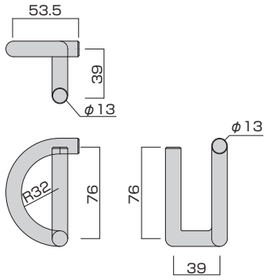


品番	品名	重量(kg)
NS−OJ	大引受けジャッキ	6.3
NS−OJL	大引受けジャッキL	7.3

NSタワー

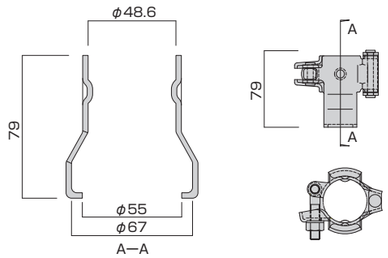
部品の仕様と組合せ（2）

⑦ ジョイントピン



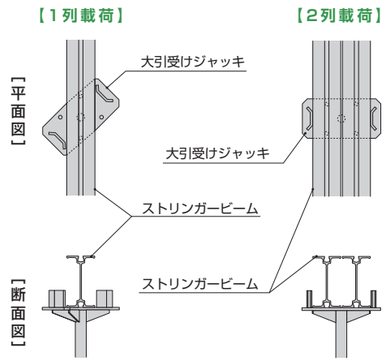
品 番	品 名	重量(kg)
NS−JP	NSタワー　ジョイントピン	0.24

⑧ リティナークランプ

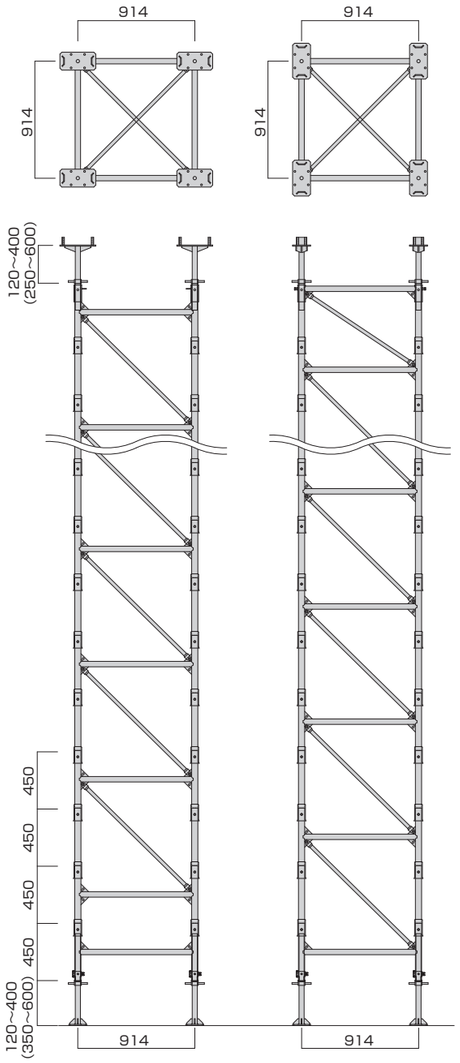


品 番	品 名	重量(kg)
NS−RC	NSタワー　リティナー	0.32

ストリンガービーム載荷図



・ストリンガービームと大引受けジャッキをTボルト、六角ナットによって固定する。



・（　）内寸法は、ロングタイプの有効使用長を示す。
・高さが4.5m以上の場合は、4.5m以内毎に単管つなぎを設け、転倒防止措置を講じる。

ストリンガービーム

12Kアルミサポート・NSタワー用、大引材

呼 名	寸 法（mm）	重量(kg)
1200	1,200	7.37

施工手順

① ベースジャッキを並べます。

② ベースフレームを差し込みます。（ブレース取付け部を上にして）

③ リティナークランプを取付け、レベル（水平、ジャッキ高）を調整します。

④ メインフレームを差し込み、ジョイントピン（抜け防止）を取付けます。

⑤ ブレースA11を対面する2構面が交差する様に取付けます。

⑥ 計画段数になるまで④,⑤の作業を繰り返します。（各部材が完全に取付けられているか確認しながら作業）

⑦ ヘッドフレームを差し込みます。

⑧ ブレースB09を取付けます。

⑨ 大引受けジャッキを差し込みます。

⑩ 大引材（ストリンガービーム）をTボルト・ナットにて取付け固定します。

⑪ ヘッドフレームにブレースA11（水平ブレース）を取付けます。

⑫ 完成です。所定の位置に設置後、再度レベル（水平、ジャッキ高）を調整します。

注）必ず、水平・垂直になる様、取付け設置する。
注）組立中、各部材が完全に取付けられているか確認しながら作業する。
注）高さが4.5m以上の場合は、4.5m以内毎に単管つなぎを設け、転倒防止措置を講じる。ただし、偏荷重が作用する場合は、高さ4.5m以下でも転倒防止措置を講じる。

アドフラット

アドフラットは、工事現場とその周辺環境を考え開発された、今、最も美しい仮囲いパネルです。また、美観のみにとどまらず、これまで積み重ねられてきた実績から、あらゆる機能が従来の鋼鈑よりも高められていることが証明されています。

特長

現場と環境を調和します

凹凸がなく、真っ白なアドフラットホワイトを使用することで、工事現場と環境との美しい調和を実現させることができます。

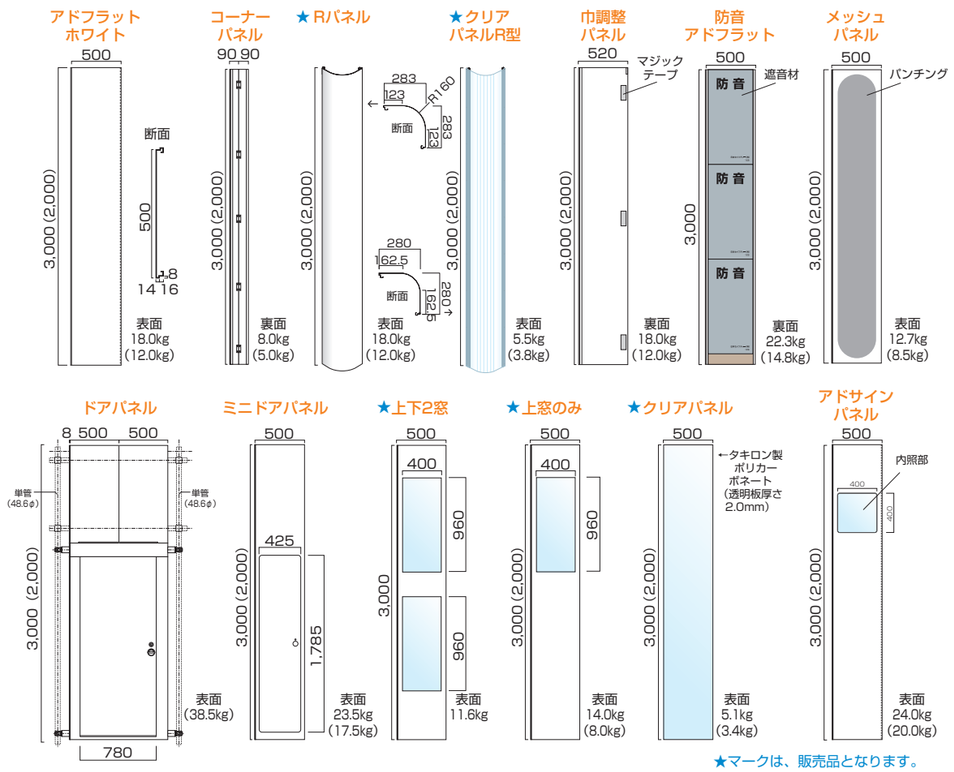
連結すき間ができません

強度は従来の鋼板と同等に設計されており、連結部においては、すき間ができることのないクランク構造になっています。

安全性、防犯性に優れた面板

表面の金具をなくすことで、外側からはずせない構造を実現し、防犯上の問題点を解決しました。表面がフラットなので衣類や身体の一部をひっかける心配がなくなりました。

製品図



★マークは、販売品となります。

Jフック

ワンタッチフックを使用しない場合に使用します。
アドフラットの裏端部にひっかけ、単管をまたがせてボルトで締め付けます。

ジョイント金具L

巾調整パネル・コーナーパネルを取付ける際に使用します。
この金具でアドフラットにしっかり固定させます。

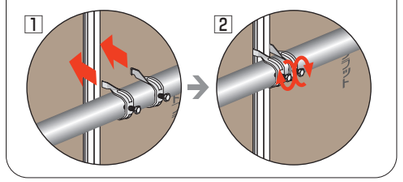
ジョイント金具S

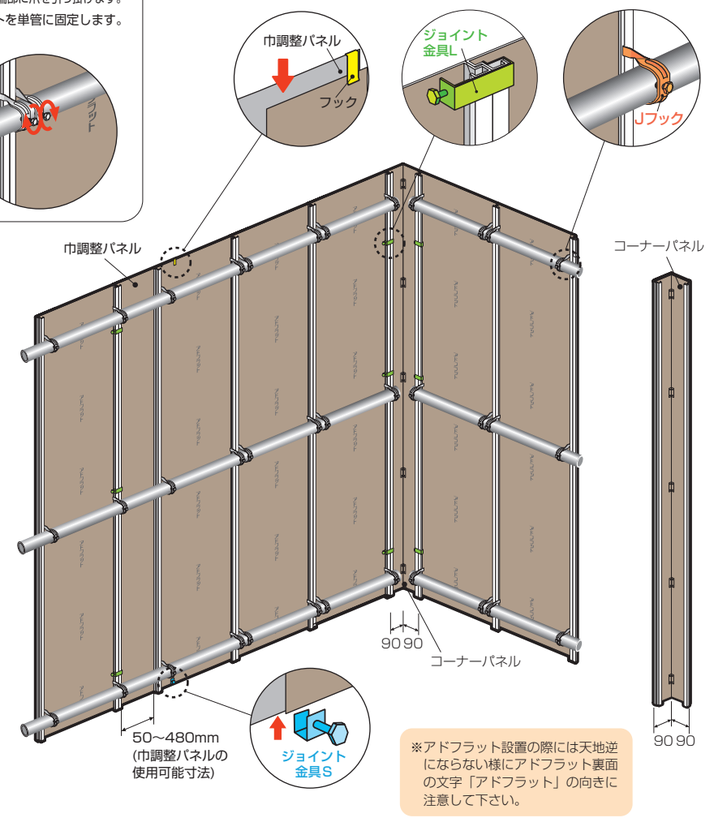
巾調整パネルを取付ける際に使用する金具です。
アドフラットと巾調整パネルの下部を固定させます。

取り扱い説明

アドフラット(Jフック)の使用方法

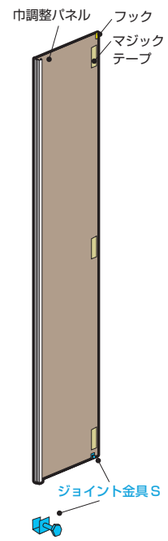
1 Jフックを単管にまたがせ、アドフラット裏端部に爪を引っ掛けます。
2 Jフックのボルトを締め、アドフラットを単管に固定します。





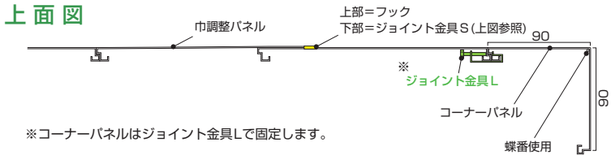
※アドフラット設置の際には天地逆にならない様にアドフラット裏面の文字「アドフラット」の向きに注意して下さい。

巾調整パネルの使用方法



①上部フックを隣のパネルにかける。
②位置を合わせてジョイント金具Lで隣のパネルと固定する。
③マジックテープのシートをはがし隣のパネルに巾調整パネルを密着させる。
④下部をジョイント金具Sで締め付けて仕上がりです。

上面図



※コーナーパネルはジョイント金具Lで固定します。

アドフラットの出荷状態

出荷時は写真の様に軽量ラックに入っています。

※ご返却の際は納品時と同じ様に軽量ラックにセットして下さい。

アドフラット必要金具数量

	アドフラット 窓付パネル クリアパネル		巾調整パネル		コーナーパネル ミニドアパネル	
	2 m	3 m	2 m	3 m	2 m	3 m
Jフック	4	6				
ジョイント金具L			2	3	4	6
ジョイント金具S			1	1		

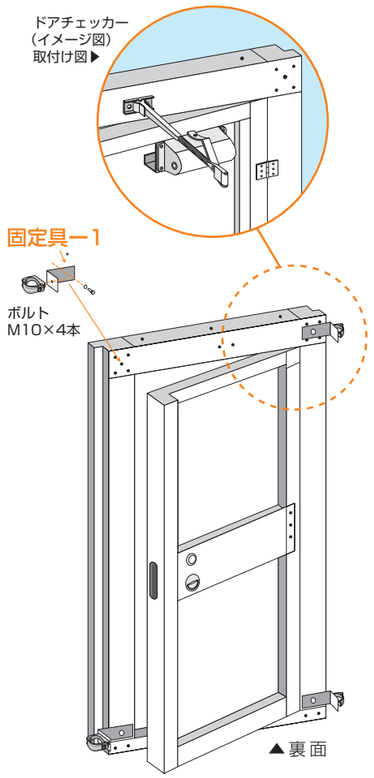
アドフラット

■ ドアパネル

アドフラットドアパネルは、従来品(当社)と比べ、現場での使いやすさ、スムーズな出入りを考えた新しいタイプのドアパネルです。ドア幅をより大きくし、ドアチェッカー(オプション)により、作業の安全性、円滑性を高めました。しかも付属品の取付け、単管への取付けが簡単に出来ます。

取付け方法と取付け手順

■ 固定具取付け要領（イメージ図）



（ドアパネルは、ドア本体とドア枠より構成されます。）

■ ドアパネルの取付け方法と取付け手順

① 梱包解体後、地面に水平に仮置きした状態で、ドアパネルの四隅の“固定具ー1”をM10ボルトおよび座金にて、所定の位置に仮止めする。

② ドアを垂直に立て、左右前後水平になるように調整し、四隅の“固定具ー1”を単管に本締めする。（単管への取付け状況は、製品図参照）

③ 設置後のドアパネルの上に、アドフラット標準パネルをセットし、金具にて単管に取付け、ドアパネル上部を形成する。
（3m高さのアドフラットの場合、1m長さの標準パネルを2枚使用する）

■ ドアチェッカー（オプション品）の取付け方法と手順

① ドアを設置する。

② 取付ける前に、ドアパネルが正しく水平に設置されていることを確認する。

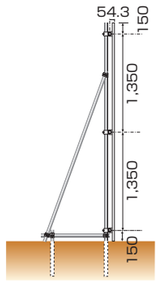
③ ドアチェッカーは、ドアパネル設置完了後、付属のネジにて所定の位置に取付ける。

詳しくは「ドアチェッカー取扱い説明書」を参照して下さい。

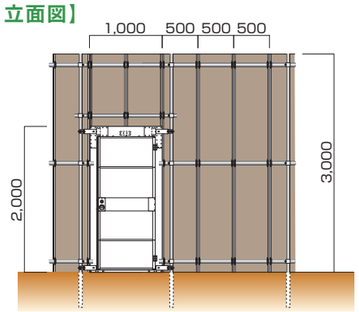
注）正しく水平に設置されるよう注意して下さい。水平に設置されないと、ドア本体とドア枠に隙間が生じることがあります。
また、チェッカーの調整が難しくなります。機種によっては、使用できないものがありますので、ドアチェッカーは、弊社にご注文いただくか、営業担当者にお問い合わせください。

● ドアパネル本体重量：38.5kg（H=2000）

【断面図】



【立面図】



ドアパネル設置写真（表側）

■ 防音アドフラット

防音アドフラットは、アドフラットパネルに遮音シートを施し、音を遮断するため、周辺の環境を配慮した新しいタイプ仮囲いです。

特長

遮音性の向上

アドフラットパネルの特長をそのまま生かしながら遮音性能を更に高めます。

後付けができます

防音マグネットシートは磁力によりアドフラットを現場に設置したあとも簡単に取付け出来ます。

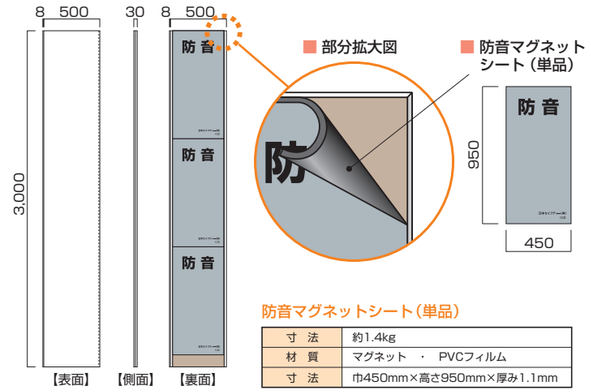
取付け金具不要

アドフラットの裏面に磁力でそのまま取付け出来るので取付け金具は必要ありません。

防音アドフラット

	高さ 3,000mm	高さ 2,000mm
重　量	約22.3kg（金具なし）	約14.8kg（金具なし）
寸　法	巾500mm×高さ3,000mm	巾500mm×高さ2,000mm
シート使用枚数	3 枚	2 枚

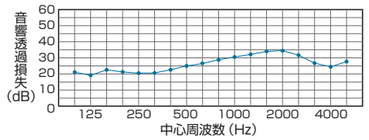
製品詳細（図柄イメージ）



防音マグネットシート（単品）

寸　法	約1.4kg
材　質	マグネット　・　PVCフィルム
寸　法	巾450mm×高さ950mm×厚み1.1mm

性能データ



音響透過損失データ

中心周波数（Hz）	125	250	500	1000	2000	4000
音響透過損失（dB）	18.9	20.7	25.0	30.5	34.5	24.6

地方独立行政法人　東京都立産業技術研究センター測定値による

※ データは、アドフラットと防音マグネットシートを併用した時の数値になります。
※ 音響性能の試験はJIS A 1416（実験室における音響透過損失測定方法）に定める方法で測定しています。

アドフラット施工例（現場実績）

サイクルゲート

■ サイクルパネルゲート

サイクルパネルゲートは、これからの資源循環型社会にふさわしい環境対応型のエコロジー商品です。優れた機能と環境への優しい配慮で建設現場における環境保全活動をサポートします。

特 長

CYG-126P

再生PETパネル仕様

PETボトルから再生されたリサイクルペットボード

パネル部には、エコロジー素材として開発されたリサイクルパネルを採用しています。この素材はPETボトル協議会より「PETボトルリサイクル推奨マーク」の使用を許可された認定素材です。

パネルの入れ替えが簡単

枠体とパネル部とを分離した新構造により、パネルの脱着が容易になりました。パネル部は3分割なので破損した際にも部分交換だけで済みます。

ブレスレスで円滑な操作性

ブレスの無いシンプルなパネル背面（81サイズ以下）

パネルの連結にはスプリング入り蝶番を採用し、円滑な操作性を実現しました。またこれまでトラブルの原因となって板ブレスを無くし、すっきりとしたシンプル構造です。

ゆったり2m高のくぐり戸

出入りがスムーズな2m高のくぐり戸

出入りをスムーズに行うため、ゲート部のくぐり戸をゆったりサイズの2m高といたしました。これにより、実用的でより使いやすいゲートです。

■ サイクルキャスターゲート

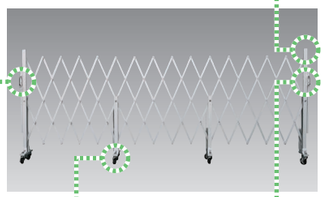
サイクルキャスターゲートは、耐久性を追求した独自の部材断面と高強度材質のアルミ合金を使用。軽量で耐久性、操作性、美観に優れた高機能キャスターゲートです。

特 長

CXG2045×2基

大型で握りやすい開閉用取手

ワイヤー通し金具（オプション）



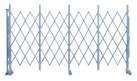
ゲートをしっかり固定する落とし棒を標準装備

単管受け金具 3Mのみ上部の単管受け金も標準装備

■ サイクルシート ライトゲート

クロスゲート（CXG-1545A）

クロスゲート（CXG-2036A）



キャスターゲート（CCG-2018A）

上部写真のようにしクロスゲートと兼用が可能です。

キャスターゲート（CCG-3036A）

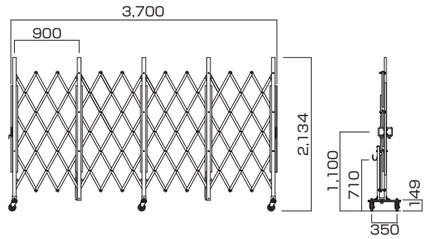
ライトゲート（CLG-36）

メッシュゲート（CYG-72P）

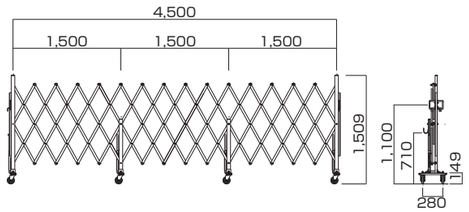
オールメッシュゲート（特注品）

キャスターゲート関連寸法図

サイクルクロスゲート（CXG-2036A）



サイクルクロスゲート（CXG-1545A）



サイクルクロスゲート・CXG-20シリーズ

H=2,134mm

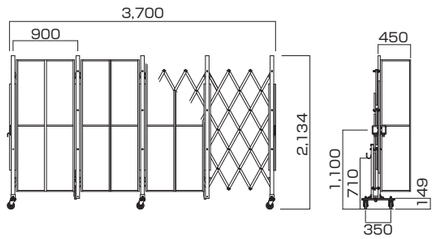
品 番		サイズ (mm)	スパン	有効開口巾 (mm)	単管芯芯 (mm)	重 量 (kg)
CXG-	2018A	1,800	2	1,720	1,990	39.0
	2027A	2,700	3	2,440	2,890	52.0
	2036A	3,600	4	3,160	3,790	65.0
	2045A	4,500	5	3,970	4,690	79.0
	2054A	5,400	6	4,780	5,590	92.0
	2063A	6,300	7	5,590	6,490	105.0
	2072A	7,200	8	6,400	7,390	119.0
	2081A	8,100	9	7,210	8,290	139.0

サイクルクロスゲート・CXG-15シリーズ

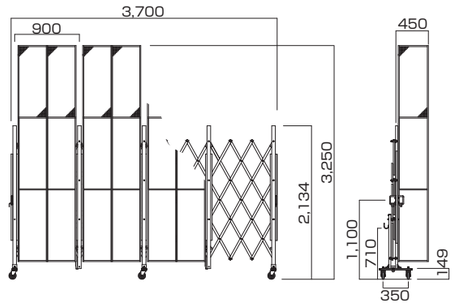
H=1,509mm

品 番		サイズ (mm)	スパン	有効開口巾 (mm)	単管芯芯 (mm)	重 量 (kg)
CXG-	1530A	3,000	2	2,700	3,190	32.0
	1545A	4,500	3	4,000	4,690	44.0
	1560A	6,000	4	5,300	6,190	56.0
	1575A	7,500	5	6,600	7,690	68.0
	1590A	9,000	6	7,900	9,190	79.0

サイクルキャスターゲート（CCG-2036A）



サイクルキャスターゲート（CCG-3036A）



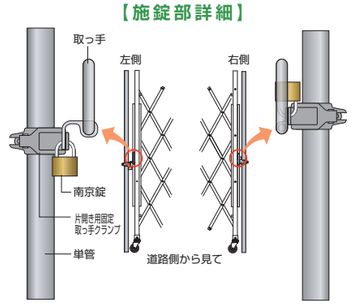
サイクルキャスターゲート CCG-20シリーズ／CCG-30シリーズ

20シリーズ：H2,134mm
30シリーズ：H3,250mm

品 番 （ ）内はCCGA-30シリーズ品番		サイズ (mm)	スパン (パネル数)	有効開口巾 (mm)	単管芯芯 (mm)	重量 (kg) （ ）内は30シリーズ重量
CCG-	2018A（3018A）	1,800	2	1,720	1,990	58.0（66.0）
	2027A（3027A）	2,700	3	2,440	2,890	80.0（93.0）
	2036A（3036A）	3,600	4	3,160	3,790	102.0（120.0）
	2045A（3045A）	4,500	5	3,970	4,690	124.0（147.0）
	2054A（3054A）	5,400	6	4,780	5,590	146.0（174.0）
	※2063A（※3063A）	6,300	7	5,590	6,490	168.0（201.0）
	※2072A（※3072A）	7,200	8	6,400	7,390	190.0（228.0）
	※2081A（※3081A）	8,100	9	7,210	8,290	212.0（255.0）

注1）※付品番は受注対応品になります。
注2）返却の際は、納入時の状態にしてご返却ください。
注3）台風などの強風の際には、全開にするかパネルを外すなど適切に対応してください。

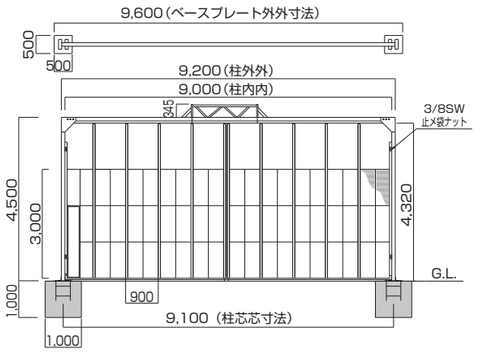
【施錠部詳細】



サイクルゲート

パネルゲート関連寸法図

サイクルパネルゲート（CYG-90）



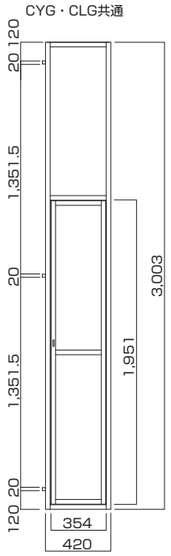
サイクルパネルゲート／サイクルメッシュゲート

H=4,500mm

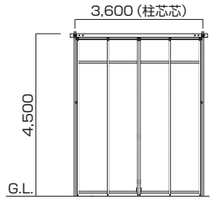
品番（ ）内はメッシュゲート品番		スパン（パネル数）	柱内内（mm）	有効開口巾（mm）	柱芯芯（mm）	重量（kg）（ ）内はメッシュゲート重量
CYG-	36（36P）	4	3,600	3240	3,700	401.4（390.3）
	45（45P）	5	4,500	4,080	4,600	445.2（431.3）
	54（54P）	6	5,400	4,920	5,500	488.0（471.3）
	63（63P）	7	6,300	5,760	6,400	578.9（556.6）
	72（72P）	8	7,200	6,600	7,300	600.7（578.4）
	81（81P）	9	8,100	7,440	8,200	668.9（643.9）
	90（90P）	10	9,000	8,280	9,100	808.5（780.7）
	99（99P）	11	9,900	9,120	10,000	876.2（845.6）
	108（108P）	12	10,800	9.960	10,900	933.6（990.2）
	117（117P）	13	11,700	10,800	11,800	989.6（953.4）
	126（126P）	14	12,600	11,640	12,700	1045.9（1007.0）
	135（135P）	15	13,500	12,480	13,600	1932.3（1890.6）
	144（144P）	16	14,400	13,320	14,500	2016.9（1972.4）

注）台風などの強風の際には、全開にするかパネルを外すなど適切に対応してください。

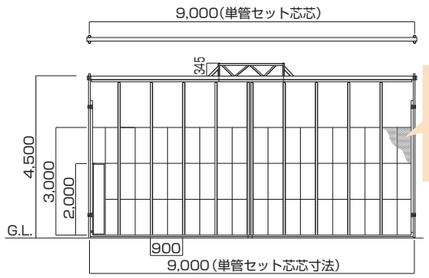
潜り戸部
CYG・CLG共通



サイクルシートライトゲート（CLG-36S）



サイクルライトゲート（CLG-90）



メッシュゲートの場合、パネル最上段のみメッシュとなります。
また、シートゲートの場合、パネル部が全てシートになります。

サイクルシートライトゲート／サイクルライトゲート／サイクルメッシュライトゲート

H=4,500mm

品番		単管セット芯芯サイズ（mm）	スパン（パネル数）	有効開口巾（mm）	シートゲート 重量（kg） 品番最後尾に S付	ライトゲート 重量（kg）	メッシュゲート 重量（kg） 品番最後尾に P付
CLG-	36	3,600	4	3,240	116.0	189.2	178.1
	45	4,500	5	4,080	138.3	228.9	215.0
	54	5,400	6	4,920	159.7	267.7	251.0
	63	6,300	7	5,760	182.9	308.2	288.8
	72	7,200	8	6,600	226.5	369.2	347.0
	81	8,100	9	7,440	273.3	433.5	408.4
	90	9,000	10	8,280	301.8	479.3	451.5

注1）台風などの強風の際には、全開にするかパネルを外すなど適切に対応してください。
注2）シートゲートのシート部は販売品とさせていただきます。

基礎工事用プレキャストコンクリート

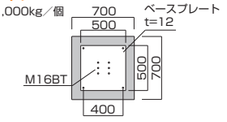
【大タイプ】

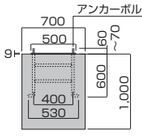
推奨ゲートサイズ
CYG−99～CYG−144

【小タイプ】

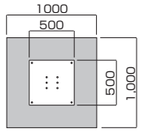
推奨ゲートサイズ
CYG−36～CYG−90
（立地条件によっては126サイズまで使用可）

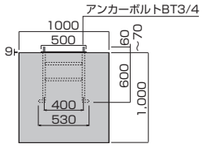
小タイプ
重量1,000kg／個





大タイプ
重量2,300kg／個





サイクルパネルゲート（CYG）建て方手順

図1

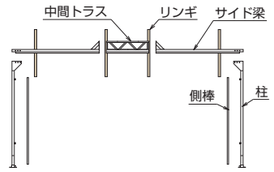


図2

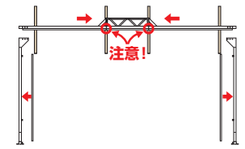


図3

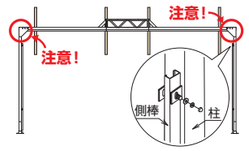


図4

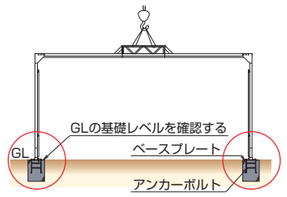


図5

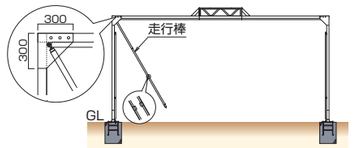
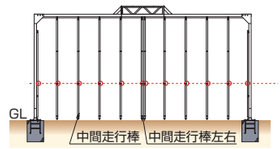
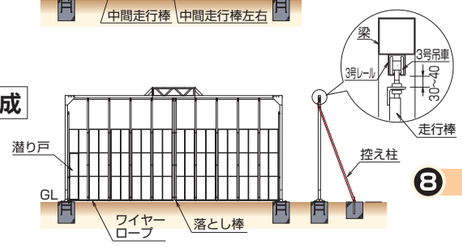


図6



完成



❶ 地組み

- 図1のようにゲート部材を並べます。
- リンギは100角×90cmが適当です。

❷ 梁の組立

- 中間トラス※1とサイド梁をボルトで縫い合せます。

使用部材：ボルト、ナット、ワッシャー、
スプリングワッシャー　1/2×32

◆ 注 意 ◆
レールのつなぎ目を合わせてください。

※1　中間トラスは81サイズ以上の場合に使用

❸ 梁の取付け

- 柱を梁に挿入します。

使用部材：ボルト、ナット、ワッシャー、
スプリングワッシャー　1/2×140

◆ 注 意 ◆
柱の長穴の中央部で固定してください。

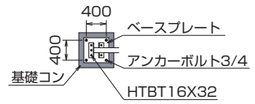
- 側棒を柱に固定します。

使用部材：ボルト、ナット、ワッシャー、
スプリングワッシャー 3/8

❹ ベースプレートへ取付け

- ユニックで梁部を吊り上げます。
- 柱脚部のボルトをベースプレートに縫います。

使用部材：ハイテンションボルト　16×32



❺ 走行棒の取付け

- 図走行棒をレールに通します。
中央→中間の順で左右のレール端から通して下さい。

❻ 柱の垂直レベル確認

- 柱の垂直レベルを確認します。

◆ 注 意 ◆
パネルピン用丸パイプの高さが各走行棒間で均一に揃っていること。

❼ パネルの取付け

- 走行棒にパネルをパネルピンで固定します。

◆ 注 意 ◆
控え柱は必ず取付けて下さい。

❽ 下部ワイヤーの取付け

- ワイヤーを通しワイヤークリップで柱に固定します。
- 潜り戸側にターンバックルを取付けます。

サイクルゲート

サイクルシートライトゲート（CLG−S）建て方手順

図1

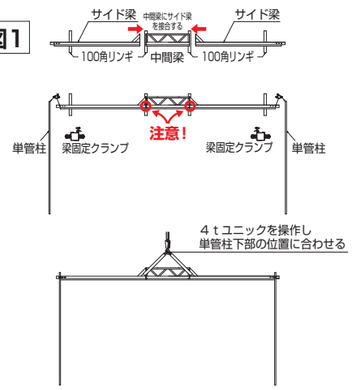


図2

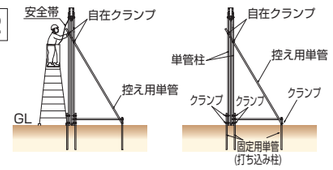


図3

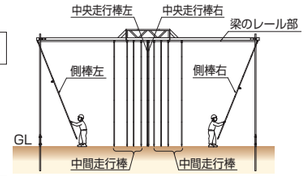


図4

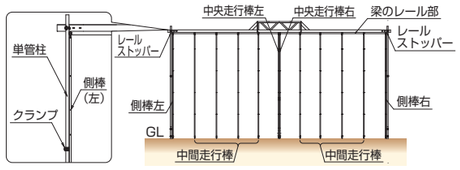
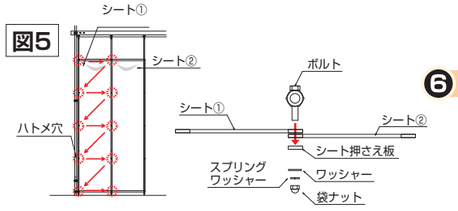
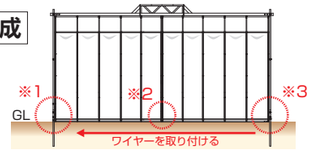


図5



完成



❶ 梁と単管柱の取付け

- 中間梁とサイド梁を100角リンギの上に乗せ、接合部を合わせます。
- 中間梁とサイド梁を接合し、梁と単管柱を梁固定クランプで取付けます。
- ナイロンスリングをユニックのフックに掛け、巻き上げながら梁を起こし、ゲート設置位置まで移動します。

使用部材：ボルト、ナット、ワッシャー、
スプリングワッシャー　1/2×32

◆ 注 意 ◆
レールのつなぎ目を合わせてください。

❷ 単管柱及び控え用単管の固定

- 梁両サイドの単管柱を固定用単管（打ち込み柱）にクランプで固定します。
- 作業台に乗り、安全帯を梁部又は単管柱ピースに取付けます。
- 単管柱上部に控え用単管を自在クランプで固定してから、地上部を固定用単管（打ち込み柱）にクランプで固定します。

❸ 走行棒をレールに差し込む

- 中央走行棒右及び左の吊車を梁のレール部に差し込み、次に中間走行棒の吊車を梁のレール部に差し込みます。

❹ 側棒とレールストッパーの取付け

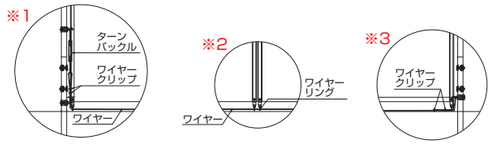
- 側棒右及び左の吊車を梁のレール部に差し込み、側棒についているクランプを単管柱に固定します。
- 梁部のレール両サイドにレールストッパーを取付けます。

❺ シートの取付け

- シート上部のハトメ穴の部分を側走行棒の上部のボルトに通し、以下順番に側走行棒の各ボルトにシートハトメ穴を通します。
- 袋ナット、スプリングワッシャー、ワッシャーでシート押さえ板を固定します。
- 図5の手順で各走行棒にシートを張ります。

❻ ワイヤーで走行棒・側棒を固定する

- 単管柱の片側部にワイヤーを巻き、ワイヤークリップで固定します。
- ワイヤーを側棒から順番にすべての走行棒・側棒下部のワイヤーリングに通し、他方の柱にターンバックルで取付けます。



サイクルライトゲート（CLG）建て方手順

図1

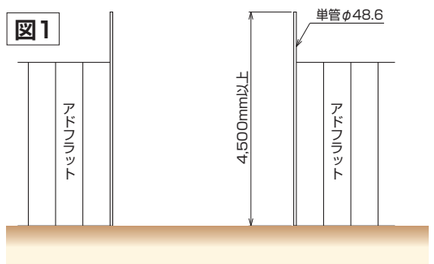
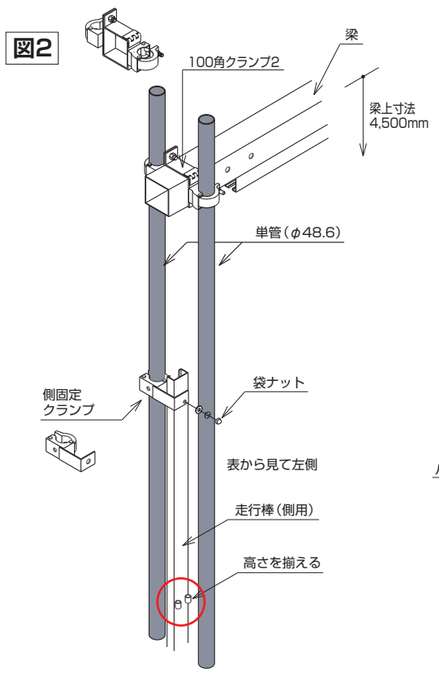
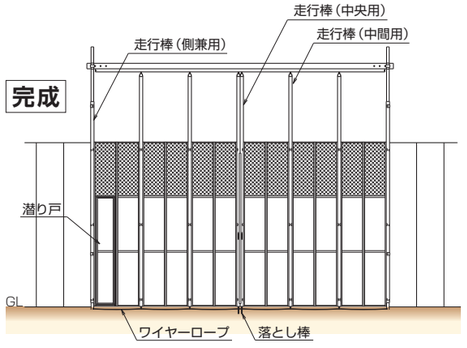


図2



完成



❶ 柱 設 置

- 柱用単管を設置
  片側に2本ずつ必要です。この際H＝4500mm以上を確保してください。

❷ 梁の取付け

- 図2のように梁の角パイプの両端に100角クランプ2を止めて単管に単クランプで梁をセットして下さい。
  （GLから4.5mの高さで）

❸ 走行棒の取付け

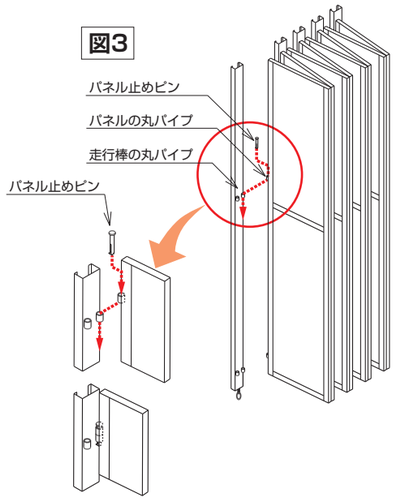
- 上部にセットされた梁のレールに走行棒を入れて下さい。

  入れていく順番は、まず走行棒（中央左右）を入れて、次にレールの両端から走行棒（中間）を入れて下さい。
  最後にレールの両端の穴に抜け防止用ボルトをセットして下さい。

- 走行棒（側兼用）に溶接されているボルトを側固定クランプの穴にボルトを通し、袋ナットセットで両端の単管にセットして下さい。

◆ 注 意 ◆
パネルピン用丸パイプの高さを中間走行棒と揃えてください。

図3



❹ パネルの取付け

- 走行棒の丸パイプの上にパネルの丸パイルを重ねてパネル止めピンを挿して下さい。

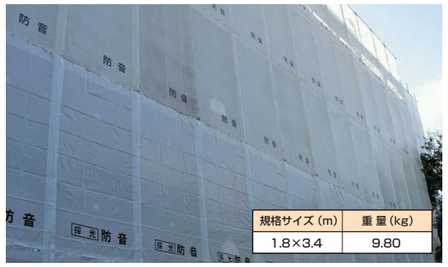
❺ ワイヤーロープの取付け

- 走行棒の下部に付いているリングに、ワイヤークリップとターンバックルでセットしてください。

養生関連

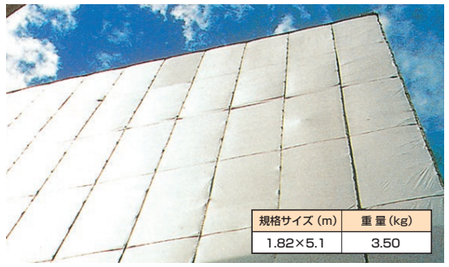
近隣・周辺への状況に合わせ、足場等の安全で快適な環境作りを行います。工事現場内での落下などの防止、防炎性などの安全性を確保します。

防音シート



規格サイズ (m)	重量 (kg)
1.8×3.4	9.80

防炎シート



規格サイズ (m)	重量 (kg)
1.82×5.1	3.50

緊張器

社団法人仮設工業会
緊張器の認定合格証▼

サイズ (W／mm)	重量 (kg)
375	1.3

親綱を簡単に強く張るための緊張器。
ロープの長さの調節もワンタッチです。

親綱［大口径フック付き］

安全に徹した、高い信頼性の命綱です。

長さ (m)	太さ (mm)
6	16
8	
10	
15	
20	

セイフティーブロック

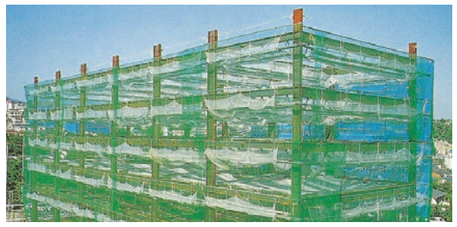
高所昇降作業用の墜落防止安全器具です。車のシートベルトと同じ原理でワイヤーロープが自由に繰り出され、巻き込まれるため、柔軟な作業性が確保されます。両手を使って昇り降りができるため、作業性・安全性が格段にアップします。

セイフティーブロックSBF

長さ (m)	使用荷重 (kg)	最大張力 (kg)	使用ロープ (φ)	揚程 (kg)	重量 (kg)
10	120	3.0	4	10	4.8
15	120	4.5	4	15	6.4
20	120	5.0	4	20	8.9
25	120	5.4	4	25	10.6

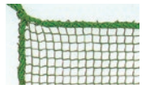
垂直養生ネット

ショックに強く、安全性は抜群です。
鉄骨や足場に直接取り付けができ、養生作業の時間もとりません。



グレーネット

グリーンネット



ブルーネット

防炎グレー・グリーン・ブルーネット

規格サイズ (m)	重量 (kg)
1×10	3.1
4×12	10.6
6×6	8.3
6×10	12.7
6×12	15.0
6×15	19.2

社団法人仮設工業会
建設工事用垂直ネットの認定合格証▼

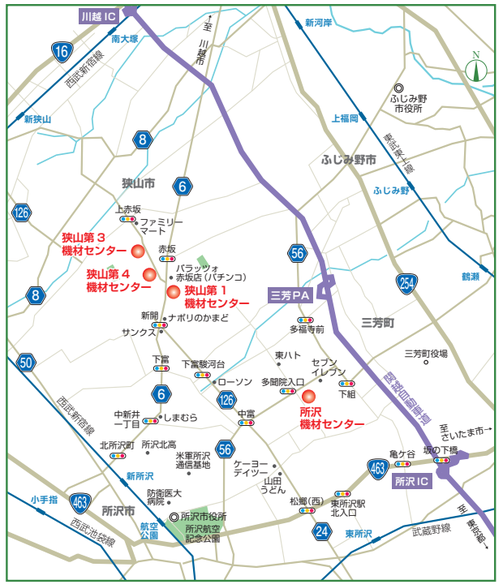
ジョイントロープ

PE（ピーイー）	グレー・ブルー・グリーン・ホワイト
	主な用途：垂直養生　※防音シートはPET
PET（ペット）	ホワイト
	主な用途：水平養生用
サイズ	長さ600mm・100本単位

1.使用期間が1ヶ月以上である場合は、緊結部の取付状態について、1ヶ月以内ごとに定期点検を実施してください。
2.長期の使用には向かない、使い切りの商品です。使い回しはしないでください。
3.ロープがパイプ・鉄骨等と、極端に擦れ易い状態でお使いになると、破断の原因となりますので緊結方法にご注意ください。

お取り扱いセンター

■ 狭山＆所沢機材センター



【狭山第1機材センター】
〒350－1313　埼玉県狭山市上赤坂624－1
TEL 04-2957-5146　FAX 04-2958-9240
■取り扱い商品：養生関連・ネット・シート

【狭山第3機材センター】
〒350－1312　埼玉県狭山市堀兼2443－1
TEL 04-2956-1772　FAX 04-2956-1773
■取り扱い商品：防音パネル

【狭山第4機材センター】
〒350－1313　埼玉県狭山市上赤坂595-2
TEL 04-2950-7677　FAX 04-2950-7811
■取り扱い商品：ハウス

【所沢機材センター】
〒354－0045　埼玉県入間郡三芳町上富1087
TEL 049-274-5657　FAX 049-274-5658
■取り扱い商品：アドフラット・ゲート・ガードフェンス

■ 茨城機材センター

【茨城機材センター】

〒300-2511　茨城県常総市花島町1890番地
TEL 0297-24-2471　FAX 0297-24-2473
■ 取り扱い商品：スーパーアルミサポート・NSタワー・クロスゲート・キャスターゲート・アドフラット